

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製品調達の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和7年度においては、以下の取り組みにより、普及啓発を行った。
 - ・木曽川上流域に、市内の小学生親子を引率し森林環境学習を行った。

□ 事業内容

木曽川上下流域交流会（親子木曽川源流探検隊）

市内の小学生親子を対象とし、木曽川源流の里である長野県木曽郡木祖村へ日帰りバスツアーを開催し、森林環境学習を実施。

【事業費】474千円（うち譲与税450千円）

【実績】7月26日(土)に実施
19組56名が参加



（自然体験（こだまの森））



（味噌川ダム監査廊見学）



□ 工夫・留意した点

- ・行きのバスの中で森林の役割等の座学を行い、実際にこだまの森に行き、自然体験を行った。
- ・木祖村観光協会と連携し、ひのきの箸セットを配付した。

□ 取組の効果

- ・自然の中での様々な体験、森林のはたらきや森林保護の大切さ、水資源の重要性について理解を深めるとともに、木曽川上下流域の交流を深めることができた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額	45,105千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※1）	0%
④人口（※2）	380,073人
⑤林業就業者数（※2）	1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より

・緑の保全事業として、地域の貴重な緑を守るため「保存樹木」を指定し、啓発のため国産木材を使用した標識を設置した。

□ 事業内容

緑の保全事業

都市化の進展により、貴重な緑が減少しつつあることから、市内に残る貴重な緑地や樹木を保存し、またそれを表示する標識を設置。

【事業費】594千円（うち譲与税594千円）

【実績】木製標識 4基



（保存樹木標識）

□ 工夫・留意した点

・国産木材を利用することにより木材利用の普及啓発に努めた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額	45,105千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※1）	0%
④人口（※2）	380,073人
⑤林業就業者数（※2）	1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2年国勢調査」より

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- 令和7年度においては、以下の取組により、公共施設の内装木質化、木造化を行った。
 - ・新保健所建設工事において、エントランス、大会議室の内装木質化を行った。
 - ・新保健所の倉庫・車庫棟の木造化を行った。

□ 事業内容

1 公共施設の内装木質化

- ・国産材を活用し、新保健所のエントランス、大会議室の内装木質化を実施
- ・国産材を活用し、倉庫・車庫棟の木造化を実施

【事業費】 1,790,999千円（うち譲与税 25,566千円）

【実績】 木材利用量 20.2㎡

□ 取組の背景

- ・市民の健康や衛生を支え、健康危機管理の拠点となる新保健所を建設することとなり、市民に親しまれるような施設を作ることを念頭に、木質化や木造化を行った。



エントランス



大会議室

□ 工夫・留意した点

- ・エントランスや大会議室の壁面を木質化することで、やすらぎや木の温かみを感じられる居心地の良い空間を多くの人が利用できるような心掛けた。また、国産材の美しい木目を生かした意匠とした。
- ・倉庫、車庫棟はより多くの木材を利用するため、木造を採用した。

□ 取組の効果

- ・実際に触れることのできる壁面を木質化したことで、木材をより身近に感じることができ、事業の効果が高まった。



倉庫・車庫棟



倉庫

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：45,105千円		②私有林人工林面積（※1）：0ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人	⑤林業就業者数（※2）：1人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和7年度にツインアーチ138において、開館30周年を記念し、展望室部に木製テーブルと椅子、木製ボールプールを設置し、記念セレモニーでは入館者に記念品として木製キーホルダーを配布した。

□ 事業内容

公共施設の木材利用

- ・ツインアーチ138展望室飲食スペースに国産木材を使用したテーブル、椅子、ボールプールを設置した。

【事業費】1,391千円（全額譲与税）

【実績】テーブル3台、椅子6脚、ボールプール1台

- ・ツインアーチ138開館30周年記念セレモニーで記念品として国産木材製のキーホルダーを配布した。

【事業費】299千円（全額譲与税）

【実績】キーホルダー354個

□ 取組の背景

- ・ツインアーチ138の入館者数は年間約10万人である。令和7年4月29日に開館30周年を迎え、その記念事業として、展望室部の飲食スペースに国産木材のテーブルや椅子、木製ボールプールを設置した。また、記念セレモニーでは、入館者に記念品として木製キーホルダーを配布した。



（木製ボールプール）



（木製キーホルダー）

□ 工夫・留意した点

- ・ツインアーチ138は、年間約130万人が訪れる国営木曽三川公園138タワーパーク内にある高さ138mのアーチ式の展望塔で、年間約10万人が利用する。令和2年度に地上100mにある展望室部の内装木質化工事を実施し、更なる利用者の利便性、魅力向上を図ることと、開館30周年を記念して、展望室部の飲食スペースに国産木材のテーブルや椅子を、小さな子どもが楽しめるよう木製ボールプールを設置し、幅広い世代に木の良さを感じられる場を提供した。また、木製キーホルダーを入館者に配布し、木のぬくもりを手にとって感じてもらうきっかけを作った。

□ 取組の効果

- ・テーブル、椅子、ボールプール、キーホルダーに木材を使用することにより、木材利用の促進につながった。
- ・材料に木材を使用することで、ツインアーチ138の展望室部へ訪れるきっかけを作り、訪れた際、木の『ぬくもり』を入館者に肌で感じていただき、木の良さを利用者にPRできた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：45,105千円	②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より

- 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。
- このため、令和7年度に富田山公園内において、公園施設等を示す案内看板に国産木材を使用して整備した。

□ 事業内容

公共施設の木材利用

- ・案内看板の材料に国産木材を使用することにより、周辺の風景と調和した施設を設置した。

【事業費】13,035千円（うち譲与税11,300千円）
（譲与税は、案内看板設置費に係る部分に充当）

【実績】木材使用量1.8105m³

□ 取組の背景

・富田山公園は、木曽川の河川敷に位置する公園で、サイクリングロードやスケートパークなどのレクリエーション施設が充実しており、多くの市民に利用されている。また、民間施設であるグランピング・バーベキュー施設なども存在しており、利用者の利便を図るため、公園の案内看板に国産木材を使用して整備を行った。



（周辺と調和した看板）



（落ち着いた色、木目）

□ 工夫・留意した点

・当施工箇所は富田山公園の入口であり、公園名と園内施設を案内看板として表示することで、公園へ訪れる人の目に留まり、利便性が向上した。また、公園敷地が広いため、園内においても施設案内看板を設置することで、利用者の不便が解消した。木曽川に接し、自然豊かな公園であるため、木の良さをより身近に感じることができるようになった。

□ 取組の効果

- ・案内看板に木材を使用することにより、木材利用の促進につながった。
- ・材料に木材を使用することで、景色と調和することができ、公園へ訪れた際、木の『ぬくもり』を利用者に肌で感じていただき、木の良さを利用者にPRできた。

◇ 基礎データ

①令和7年度譲与額：45,105千円	②私有林人工林面積（※1）：0 ha	
③林野率（※1）：0%	④人口（※2）：380,073人	⑤林業就業者数（※2）：1人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より